

平成14年12月13日
原子力安全対策課
(14-99)
<17時記者発表>

敦賀発電所2号機のA高圧第6給水加熱器給水出口弁逃がし
ライン付近からの蒸気の漏えい

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉；定格出力116.0万kW）は、12月12日に高圧タービンN0.2軸受け付近の保温材からの発火により、21時00分に原子炉を手動停止し、12月13日現在、高温停止状態にあるが、同日12時30分、パトロールを行っていた運転員が、A高圧第6給水加熱器出口弁の逃しライン付近からわずかな蒸気が漏えいしているのを発見した。

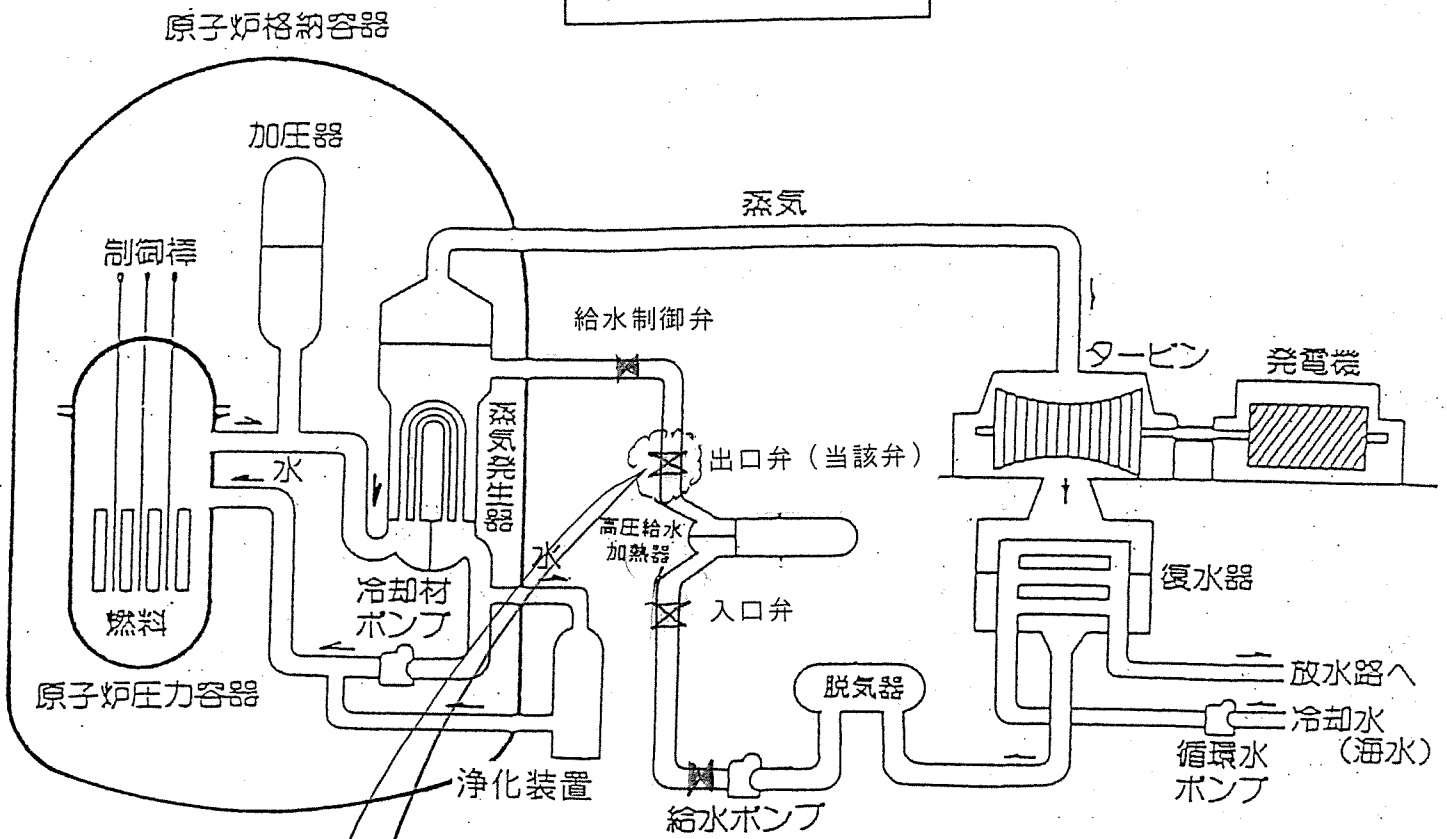
現在、当該出口弁逃しラインの接合部は、保温材が施行されており、蒸気漏えい箇所は確認できていない。

今後、当該給水加熱器を隔離後、保温材をはがし、調査および補修を行う予定である。

なお、漏えい蒸気は2次系であり、放射能は含まれておらず、本事象による周辺環境への放射能の影響もない。

問い合わせ先(担当：小西)
内線2354・直通0776(20)0314

系統概要図



給水出口弁

